



Annual Report

2018 - 2019

年次報告書



挑戦の伴走者に、熱意のつなぎ役に

「ひとが起点となる、挑戦と変革のまちづくり」

G-net は、2001 年 10 月に設立、2003 年に法人化をし、イベント、フリーペーパー、インターンシップ、創業支援、就職採用支援など様々な事業を展開してきました。

大切にしてきたことは、世代や立場でなく、ホンキで取り組む挑戦者が繋がること。

どんなプログラムも、どんな仕組みも、どんな事業も、描いたビジョンの実現に向けて、ホンキで取り組むことなしに成果が生まれることはありませんでした。

2019 年、18 年目を迎えた今、新たなステージに向けて挑戦を始めていきます。

あきらめずに挑み続ける企業や若者の存在に光を当て、更なる挑戦を生み出す生態系作りにむけて、動き始めます。

この 1 年を皆様と共に、振り返りながらこれからについてお伝えできることを楽しみにしています。

NPO 法人 G-net 代表理事 南田修司

CONTENTS

■ 代表・副代表挨拶 _____	3	■ 事業報告 _____	10
■ G-net Mission / Vision _____	4	● インターンシップ事業	
■ G-net History _____	5	● 就職・採用支援事業	
■ 2018→2019 Topic _____	6	● プロボノ・兼業支援事業	
■ Model Case _____	8	■ Alliance Partner _____	13
■ インターンシップ卒業生のその後 _____	9	■ Partner Message _____	14
		■ 会計報告 _____	15
		■ Alumni Message/ ご支援のお願い _____	16



**変わり続ける社会の中で、
このまちを次のステージに押し上げる
変革のリーダーを輩出したい。**

**本当に、魅力的でチャレンジングな
まちづくり、仕事づくり、そしてひとづくりを、
多様なパートナーと共に実現する。**

代表理事 南田 修司

「人を集める」から「人が集まる」まちにしたい。

ホンキ系やミギウデ事業を通じ、意欲ある人と地域を繋げ続けて18年目を迎えています。

やればやるほど実感することは、問われているのはいつも自分たち側だということ。若者を集める、地元に残す・・・そうじゃない。どんどん世界に羽ばたいてほしい、多様なフィールドに飛び込んでほしい。それでも残りたくなるような、戻りたくなるようなまちをつくる。それが僕たちの取り組みたいことです。

2018年は、新たな挑戦に対するワクワクと変化への不安とが入り交じる1年でした。

スタッフ全員で、相も変わらず「G-netは何者か？」という問いに向き合いながら、変えたいこと、変えるべきこと、変わらないことを何度も考え続けていました。改めて思っていることは、目の前に起きる様々な課題、これから起きるであろう課題に対してどう向き合うか、だけでなく、自分たちはどうしたいと思っているのか、このまちにどんな価値を生み出したいと思っているのか、ということも等しく大事にしたいということです。

G-net 単独では難しくても、地域内外の多様な仲間と共に、課題解決と価値創造の両輪をもって取り組みを進めていきたいと考えています。

「挑戦から始まる魅力的なまちづくり」仲間として参画して下さると幸いです。

副代表理事 田中 勲

G-netの一員となり7年目を迎えました。中学1年生です。サッカー以外でこれまで長く続いたことがない中、地域中小企業経営者の皆様や志の高い若者、そしてG-netの仲間たちのおかげもあり楽しくエキサイティングな毎日を過ごさせてもらっています。この場を借りて御礼申し上げます。

2018年を終え、代表交代から2年が経ちました。組織体制やステークホルダーの皆様との関わり方も見直し、新たなチームで動きだしをスタートしています。今後は、これまで地域の経営者や若者と共に築き上げてきた土壌を耕すだけでなく、新たな価値創出に向けた種まき、未開拓分野にも挑戦していくことが求められているように感じています。このまちから生まれるひとつひとつの挑戦の種が芽吹くサポートと新たな取り組みへの挑戦を通じ、岐阜と世界が持続可能な未来であるよう、これからも尽力いたします。どうか引き続きご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



G-net Mission / Vision

G-net Mission - 私たちの使命

地域産業の経営革新と、担い手となる右腕人材の育成に取り組み、地域活性を支える事業を輩出し続ける



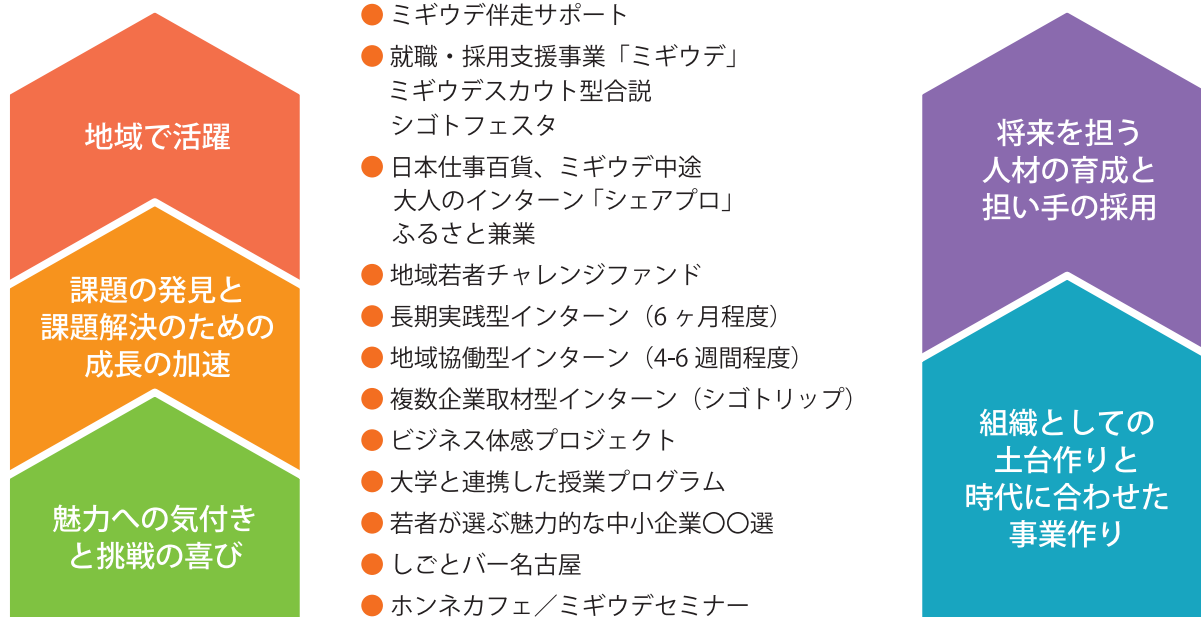
G-net Vision - 私たちの目指す社会

誰もがチャレンジを保証され、支えあうことができる
そして、挑戦が評価され、連鎖する社会の実現を目指す



G-net が考える地域活性には、地域の当事者となる人材の育成と活躍するフィールドとなる産業の活性が欠かせない。しかし、ひとつひとつの成長や変化を実現させる絶対的な解はなく、時代や環境の中で常に変化を続けている。そのため、大切にしたいことは『常に挑戦的である』こと。このまちの挑戦の絶対数を増やし、挑戦の精度が高まるコミュニティを構築することで、変化や成長を実現できる地域づくりを目指していきたい。そして、地方都市岐阜から始めることで、他地域や社会全体に波及させていく。

G-net の取り組む打ち手



事業のポイント

- ① 人材が育まれる、生産性が最大化できる組織作り
- ② 挑戦的なフィールドを開拓し、成長できる機会提供
- ③ 自身の当事者へ、そして社会の当事者へと成長できるコミュニティづくり
- ④ 共感を呼ぶ事例を創出し、挑戦を誘発する仕組み作り
- ⑤ 成果にコミットし、多様な組織と共創できるグランドデザイン

第1フェーズ 主体者としての G-net / 期間限定団体 (6ヶ月) として立ち上げ

('03) NPO 法人格を取得

('01~'04) カウントダウン



年越しイベントを開催。
岐阜が面白い・・・

('01~) トークライブ

G-net night!



全国から挑戦者を岐阜に招聘。
チャレンジ精神の伝播

('02~'07) ビーンズフェスタ



挑戦する夢の豆が集まる年に
1度の祭典。

('03~'07) フリーペーパー



ORGAN / Beans! の発行
チャレンジする人を取材し、若者へ

第2フェーズ 伴走者としての挑戦 / まちづくりからひとづくりへのシフト

実践型インターンシップ / UI ターン支援事業

経産省 / チャレンジコミュニティ創成事業採択 ('04~'06)

- ('04~) 『ホンキ系インターンシップ』事業スタート
- ('10~) 『地域協働型インターンシップ』事業スタート
- ('13~) 『複数企業取材型インターンシップ』事業スタート



インターンシップフェア
10人程度から始まったフェアも100人を超えるイベントに

- ('07) 岐阜大学等授業開始
- ('08) ノウハウ移転事業開始
東紀州地域 ('08~) 岡崎市 ('12~)
- ('10) 地域若者チャレンジ大賞受賞
- ('13) 岐阜信用金庫 / 百五銀行事業提携
- ('14) CD 養成講座を他機関向け開始
- ('14) 名古屋学院大学現代社会学部連携
- ('15) 飛騨信用組合事業提携
- ('16) 中小企業経営革新賞受賞
- ('16) 名古屋商科大学連携協定締結
- ('17) 金城学院大学連携協定締結合意
- ('17) 社会人領域をスタート

創業支援・中間支援事業

経産省 / 創業支援フォーラム・創業塾開催 ('06)

- ('07~'09) インキュベーションオフィス『かけたす』
- ('08~) ブラザー工業協賛『東海若手起業塾』スタート
- ('13~) 岡崎ビジネスサポートセンター『OKa-Biz』



東海若手起業塾
ボードメンバー、事務局、伴走コーディネーターを担当



OKa-Biz
創業者、秋元祥治がセンター長に就任。行列のできる経営相談所に

経産省「新連携地域資源活用プログラム」等採択 ('06~) / 経営力向上にむけ理事会改組 外部理事を招いた組織運営にシフト ('09~) / 東日本大震災復興支援活動 ('11) / みちのく復興イノベーションに参画 ('12) / 岐阜大学「学生ボラネット」立ち上げに参画 ('12~) / ゴールドマンサックス中小企業経営革新プログラム ('14) 最多採択

第3フェーズ 伴走からコミュニティづくりへ / 地域産業の経営革新と右腕人材の育成へ

就職採用支援事業 (ミギウデ事業)

中小企業の右腕に特化した就職採用支援事業をスタート

- ('15) 中小企業庁『UIJ ターン人材拠点事業』採択
- ('16~) 中部経済産業局『中部地域における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業』採択



- ('12~) 岐阜中小企業と若者就職白書 1,2号発行
- ('13~) オモシロ中小企業 26選、若者が選ぶ魅力的な中小企業 100選発行
- ('14) 地域で活躍する若者の事例集『「みぎうで」という働き方』発行
- ('14) グロービス経営大学院名古屋校と連携した社会人向けプログラム

プロボノ・兼業支援事業 (ふるさと兼業事業)

都市部と地域を繋げる社会人向け事業をスタート

- ('18~) 富士ゼロックス株式会社の研修受入 (シェアプロ2期)
- ('18~) ふるさと兼業webを開設 / 全国16地域と連携



- ('15~) 日本仕事百貨、大ナゴヤ大学と連携し、「しごとパー名古屋」開始
- ('17~) 社会人インターン「シェアプロ」開始
- ('18~) 中部経済産業局の事業受託に伴い「新しい働き方会議」を開催

地域若者応援ファンド「Beans Fund」の新設 ('12~) / 若者と企業と地域のための研究所設立 ('12) / 他機関との事業連携を加速 / 日本仕事百貨 ('12~) / 楽天株式会社地域活性グループ ('15~) / クラウドファンディングで支援を受け事務所を改装・コワーキング化 ('15~) / LGBTフレンドリーな組織作りを目指し、社内規定を改定 ('16) / 事業部統合 ('19~)

2018 → 2019 Topic

この1年もG-net 社内外で色々なことがありました。
ここでは、その一部をご紹介します。

共感と熱意から始まる兼業・プロボノマッチング web 「ふるさと兼業」開設



「ふるさと兼業」オープン(2018年9月)

多様な働き方の推進や地方創生の加速を目的に、課題を抱えながらも新規事業に挑戦する地域企業と、本業をやめずに地元や共感する事業に関わりたい都市部の人材をつなげるマッチングweb「ふるさと兼業」を開設しました。

地域密着型の兼業マッチングサイトとして、全国の16地域と連携しながら運営しています。2018年の1年間で約100人の社会人と地域のマッチングを生み出しています。



「ふるさと兼業」首都圏チーム活躍中!

ふるさと兼業では、都市部の人材向けのプロモーションを担うメンバーを募集し、現在4名の兼業者が、首都圏チームの広報担当者として活躍中です。首都圏でのイベントや情報発信など、各自が本業を持ちながら、隙間時間を活用してG-netの事業推進に関わる新たな働き方に挑戦しています。2019年には、新たな拠点として関西圏、東海圏でのふるさと兼業を推進する兼業チームも始動しており、NPOや地域と関わる多様なモデルが生まれています。

既存体制を見直し、新たな事業運営体制へ

事業承継から2年目を迎え、新たな事業の立ち上げや、既存事業の改革の流れを受け、2018年度は組織体制を見直し、新たなチーム作りに取り組みました。

まず組織体制の変更として、新たに外部理事2名が就任しました。

- ・ 山川醸造株式会社 代表取締役社長 山川晃生氏
- ・ 株式会社熊野古道おわせ 夢古道おわせ支配人 伊東将志氏

いずれもホンキ系インターンシップの受入企業としてはじまり、10年の永きにわたりG-netを支えてくださっている方々です。

また事業推進体制の変更として、インターン事業部、ミギウデ事業部としていた事業部制を廃止しました。事業部制による個別事業支援から、1社1コーディネーター制によるトータル支援ができる体制へと移行することで、よりひとりひとりや企業に向き合った事業運営ができるようにしていきたいと考えています。



35社80名のミギウデ人材のキャリア支援と社内起業支援のための新プロジェクトを発足!



2013年に開始したミギウデ事業を通じて、これまで80名の人材が35社の地域企業に入社を決めており、その数は年々増えています。(6年経過した今でも約90%が定着しています。)

一方、ひとりひとりに伴走する中で、大なり小なり壁にぶつかる姿も見えてきています。そこで、地域で働くひとりひとりがイキイキと楽しく、思い描く社会人へと成長できる環境作りのためのビジネススクールをスタートさせました。よりミギウデらしく、どんな場においても活躍できる社会人になっていき、それがこのエリアの活力となり、持続可能な地域づくりに繋がっていけば嬉しく思います。

地域の社内起業家応援プロジェクト スクール長 今永 典秀

プロジェクトと出会うマッチングイベント“カケタス”始動



2004年に開始したホンキ系も16年目に突入り、転換期を迎えています。インターンシップへの参加が当たり前化し、社会人のインターンシップ事例も生まれる時代となってきました。大学生や社会人の区別そのものが意味を失い始めています。

そうした中で、新たな試行錯誤として、従来の「長期インターンシップ」だけでなく、社会人の兼業やプロボノなど多様な機会と出会う場作りをスタートしました。

年齢や立場に関係無く、多様な人が多様な形で社会との接点を持ち、挑戦できる環境を生み出すことで、新たな人と仕事、人と地域の関わり合いを生み出していきたいと思っています。

さよなら就活プロジェクト キャンペーン開始



若者のキャリアを取り巻く閉塞感を打破したい。

2018年は経団連による就活協定廃止がニュースになるなど、就活を取り巻く環境が揺れ動く1年でした。多くの大学生も就活を基軸にキャリアを考え始めていますが、そこに問題意識を持つ若者も増えてきています。G-netでも、本当はもっと早い段階から就活に関係無く社会と出会い、多様な立場の人が交流しながらキャリアを考える機会を提供できたらと感じていました。そこで、スタートしたのが、# さよなら就活プロジェクトです。

多様な機関と連携しながら、新しい就職の形や、仕事との出会いの機会をこれから生み出していきます。

Model Case

株式会社のうひ葬祭

インターン生の育成が、
新入社員を育てることや組織づくりに繋がる。
「人に寄り添うこと」を軸に、
学生の採用・育成チームを導入し、
幹部社員から若手社員も成長する組織に。

('14 ~) ホンキ系インターンシップ導入 / 8 名
('15 ~) ミギウデ導入 / 6 名の右腕人材採用

- 社長のみのインターン導入・採用から、全社員で新入社員を育てる意識が根付く企業へ。
- 1名のインターン生に対し、8-10名ほどの幹部～若手社員がそれぞれ役割をもって接する体制を導入。
(野球チーム制・家族制・学校制など)
- 1人の学生を半年間育てていく経験を通して、既存業務に加え組織づくりの目線を持って会社に携わる社員が増加。
- 同時進行で新卒採用においても、「のうひ葬祭」らしい人物像の策定から、業務体験日の考案など、全員が自分の後輩を採用する意識で取り組んでいる。
- 2016年にホンキ系インターンシップに参画した学生が2019年に同社に新卒で入社し、後輩となるインターン生のサポートをする人材育成の好循環が起きている。



ニッケン刃物株式会社

70年以上の歴史を持つ刃物メーカーが、
伝統産業の革新に挑むべく右腕人材の採用へ挑戦。
自社ならではの魅力発掘と、社長を中心とした
採用チームを組織することで、
県外の女子大生2名の採用に成功。

('18 ~) ミギウデ参画 / 2 名の右腕人材採用

- 若手社員を中心として企画した新商品がヒット。
新商品開発だけでなく、将来を担う右腕人材の採用にも挑戦。
- 若者目線で見た自社の魅力を再定義。これまでの刃物製造ではなく、「企画」「海外営業」に焦点を当てて魅力を発信。
- 海外営業・国内営業部からベテランと若手1名ずつ参加し、社長を含む7名で採用チームを組織し、採用活動を実施。
- 20名を超える説明会参加者から13名がエントリー。その中から内定を3名に出し、2名が承諾に繋がった。
- 大卒採用で、初めての県外出身者の採用という成果に繋がった。



インターンシップ卒業生の活躍紹介

谷合 俊明さん / 株式会社 Kitamura Japan (まくらのキタムラ) 事業本部 枕営業課

NPO と企業、両面から日本のものづくりを支える右腕に

1989年愛知県出身、岐阜大学卒業。販売員、店長経験を積んだ後、まくらのキタムラ社長から声がかかり転職を決意。日本のものづくりのオープンイノベーションを仕掛ける NPO の専務理事も務める。

現在

まくらの実演販売イベントや売り場ディスプレイの企画提案等、百貨店やインテリア、寝具店への全国営業を担当。広報領域においても、取引先でのイベントプレスリリースを打ち目標の3.3倍の販売数に貢献する等、会社全体の仕事に携わっている。

●G-net の縁をひと言で：視点を大きく広げてくれる場所



ホンキ系インターン
第10期(ゴッタライド)
第13期(まくらのキタムラ)
第16期(G-net)卒業生

羽田 知弘さん / 株式会社西粟倉・森の学校 営業部長

日本を牽引する木材ベンチャーを支える複業営業マン

1989年愛知県出身、三重大学卒業。国産材専門の木材商社に入社するも、日本の林業の課題に向き合うべく、現職へ転職&岡山県西粟倉村に移住。現在は仕事の傍ら、罌猟師やブログ運営で複業も。

現在

入社3年目で営業部長に就任し、新規顧客の開拓や新商品の開発、事業の立ち上げなどを担当。日本の木に特化したモノづくりに取り組む。インターン時代のご縁から、有限会社大橋量器を始めとする G-net 受入企業との協同プロジェクトを展開中。

●G-net の縁をひと言で：「一緒に生きていきたい」と思える人たちに溢れた挑戦縁



ホンキ系インターン
第12期(G-net)
第15期(夢古道おわせ)
卒業生

清水 彩さん / 株式会社タナック 営業開発部 第二営業開発課

社内初の商品開発チームを結成し、多数のオリジナル商品を開発

1993年愛知県出身、中京大学卒業。インターンを通じて地元中小企業への関心が高まり、ミギウデの逆指名求人イベントでタナックと出会う。ニッチな分野でのものづくりに興味を持ち2016年に入社。

現在

自社ブランドの健康・美容雑貨の企画開発・営業・広報を担う。入社後3年で自社オリジナル商品を10商品立ち上げ、LOFT、東急ハンズ、ドラッグストアなどの店舗へ導入。メディアにも多数掲載された。(日経新聞、日経MJ、NHK他)

●G-net の縁をひと言で：「はたらくこと」へのきっかけをくれた場所



ホンキ系インターン
第17期(三州野安)
第22期(G-net)卒業生

二方 隼人さん / 株式会社 Same Sky 取締役社長

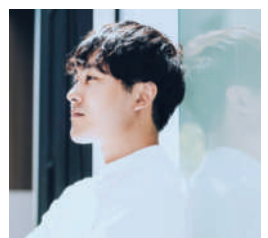
メディアでも注目されるサブスク型ビジネス「CAFÉ PASS」を起業

1991年愛知県出身、愛知淑徳大学卒業。2014年上京しポータルサイトを運営するエキサイト株式会社に入社し、新規事業のセールスやサービス企画に従事。2017年に退社、起業。

現在

2017年7月に会社を創業。国内130店舗以上のカフェを月額定額制で利用できるサービス「CAFÉ PASS(カフェパス)」を東京・愛知・福岡で運営。2019年7月現在、月間で4,000杯以上のドリンクがカフェパスを通じてオーダーされており、更なるエリア拡大を通じて小さなカフェが大手と共存できる世界を目指している。

●G-net の縁をひと言で：「起点」このインターンがきっかけで起業家としての自分がいます



ホンキ系インターン中期
第4期(ひとひとの会)
卒業生

インターンシップ事業

目指す方向性

“若者・企業に対して、プロジェクト単位の多様な選択肢を提案し、
「チャレンジできる環境」をつくっていきたい”

挑戦しがいのある産業や試みが生まれることで、人が集まり、社会や地域に対し当事者意識のある若者を育成できる地域へ

ホンキ系インターンのこれまで

フェーズ1

企業と学生のwin-winを考える 「ホンキ系インターン」

採用直結ではない企業課題解決型の実践型インターン「ホンキ系インターン」。地方随一の実績とホンキ系をモデルとした他地域での導入支援などを実施。時代変化に併せて、新たなモデルを試行錯誤し始める。

インターン参加学生
(のべ)

789名



インターンを起点とした
メディア掲載数

年間平均 20件



年間キャリア面談数

525回



フェーズ2

教育的効果の高いキャリアプログラムとしての 開発とインターン市場への啓発

玉石混淆でレッドオーシャン化するインターン市場に向けて、インターンシップの品質基準を制定するための取り組みを開始。※チャレンジコミュニティプロジェクト等と連携
内閣府の地方創生インターンシップの推進委員に就任し、民間レベルと国レベルのそれぞれのフェーズで議論を深める。

研修等の
プログラム参加大学

31大学



フェーズ3

ミギウデ・ふるさと兼業と連動した トータルコーディネートへの展開

ホンキ系インターン活用だけでなく、ミギウデやふるさと兼業など企業ニーズに合わせたトータルサポートを本格的にスタート。また人材ニーズに対応する新たなプログラムの開発を開始。人材・企業それぞれに合わせたきめ細やかなフォロー体制を試行錯誤。



採用支援導入企業の
インターンシップ
併用率

16～19卒

54%



ミギウデ就職者の
実践型インターン
参加率

16～19卒

31%

2019年度からの取り組み

- 1 インターンの品質基準に関する取り組みを本格化。内閣府の地方創生インターンシップ委員会など国、民間連携での基準作りを推進。全国のパートナーと連携した事例輩出を目指す。また、大学・企業・学生に向けたインターンに関する専用相談窓口を設置。
- 2 大学入学前に、地域企業の魅力を知ってもらうための高校生向けプログラム「最後の学校」をスタート。U18世代が地域と関わる仕組み作りに着手。
- 3 時代変化に合わせたインターンシッププログラムの新規開発。社会人と学生が共に活動するプログラムや兼業型プログラムなど、ホンキ系インターンシップのバリエーションを拡大。課題提案型のマイブロ等と連動したプログラムへ。

目指す方向性

ミギウデは、人と企業とが対等なパートナーとして互いを尊重し、学びあい、磨きあえるコミュニティをすることで、地域に柔軟で多様な就職・採用の形を作りたい。そして、挑戦する地域企業と意欲ある人材のコーディネートを通じ、地域や社会の課題解決、新たな価値創出を推進する。

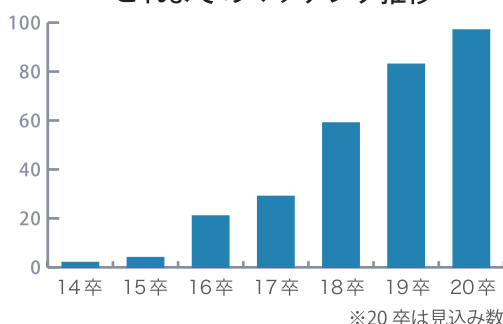
累積
マッチング数

97名

ミギウデ事業依頼の累積マッチング数は増加。採用難時代の中で、意欲ある人材が地域に飛び込むきっかけになりはじめた。

※20卒の見込み数含む
※直接コーディネート件数のみ

これまでのマッチング推移



定着率

86%

従業員100人未満の企業の3年定着率は60%と言われる中、ミギウデは事業開始6年経過した今でも高い定着を実現。

※14卒～18卒入社
※平均従業員数は77名

中小企業と
交流した
大学生数

7718名

ミギウデ事業開始後6年間で、地域の中小企業と交流した大学生数。多くの学生がG-netを介し、地域企業に多様な形で出会うようになってきた。

※15卒～20卒の大学生と企業とのイベントでの総交流数（概算）

伴走学生数

528名

キャリア支援、就活伴走支援の学生数。地域企業ありきでなく、キャリア自律を主軸においた伴走を実施。

伴走企業数

101社

採用戦略設計からマッチング支援、その後の定着や研修サポートなど伴走した企業数。採用だけでなく、組織開発にまで踏み込んだ支援を実施。

ミギウデ支援学生の
ミギウデ企業就職率

18%

就活伴走支援をした学生のうち、18%が地域中小企業（ミギウデ伴走支援企業）へ入社。社長の右腕という働き方を選択する学生もいれば、大手企業、ベンチャー企業、公務員など、様々なキャリア自律に向けての選択をG-netでは支援しており、その納得度は非常に高い。まだまだ中小企業への就職は少なくとも、納得感あるキャリア形成を支えることが、ミスマッチを減らし、高い定着率に繋がっている。



● 地域の社内起業家応援プロジェクト

入社3年以内に、企業の経営革新に携わるミギウデ入社社員が多数。その動きをさらに加速させ、企業の担い手から地域の担い手へと成長するための支援プログラムとしてスタート。

2019年度からの取り組み

- 1 「就活生」という概念を取り払い、学年関係なく参加できる就活（採用）プログラムやイベントの開発をスタート。就活ありきでなく、多様な出会いや経験の中で仕事と出会える環境作りへ。
- 2 通年採用など多様な選考や内定の仕組みを地域企業に提案し、時代に対応できる人材採用体制作りに着手。
- 3 G-netが自信を持って推薦できる、各企業のプロジェクトを厳選したプロジェクト掲載webを製作、人材や大学、それぞれが安心して探せる、魅力を感じる企業情報の発信をスタートする。

プロボノ・兼業支援事業（ふるさと兼業事業）

目指す方向性

誰もが、立場や状況を超えて愛着ある地域や事業に当たり前に参画できる環境を作り、新たな地域作りの土壌を生み出したい。また、全国複数地域の NPO 等と連携することで、日本中の地域と人材を繋ぐ地域密着型兼業プラットフォームを構築する。

プロボノと経営課題に取り組む3ヶ月のプログラム「シェアプロ」

2018年度に3期目を実施したシェアプロでは、これまでに55名の社会人が、東海エリアの地域企業15社に飛び込み、中核人材として、企業の経営課題解決、新規事業開発に取り組んできました。シェアプロをきっかけに、業界の常識を覆す新サービスをリリースした企業、販路を全国に広げた企業などの事業革新事例が生まれています。

1期～3期コーディネート数

15社 55名

地域中小企業と都市部の若者を繋げる兼業マッチング支援「ふるさと兼業」

2018年9月に兼業マッチングweb「ふるさと兼業」をオープン。関係人口の創出に取り組む地域のパートナー団体と協働で運営する仕組みを構築しています。また、一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会と連携し、安心してプロジェクトに参画できるようにプロボノ・兼業向けの福利厚生制度「ベネフィットプラン」の導入なども開始しました。現在は全国各地で24件のプロジェクトがマッチングし、事業がスタートしています。



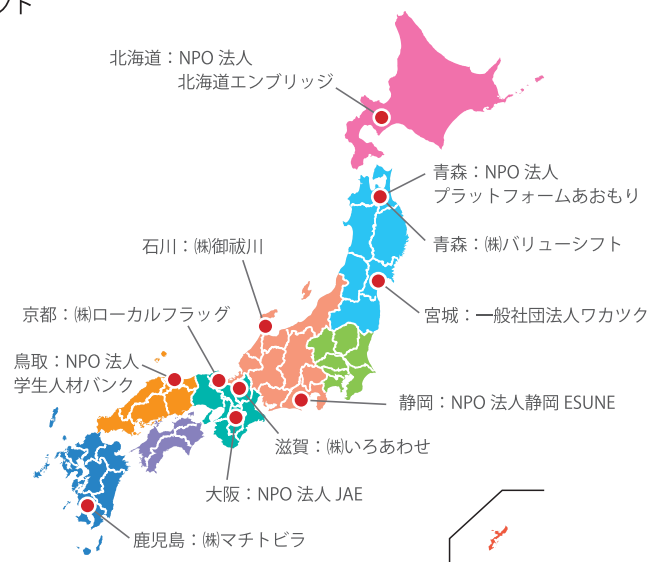
エントリー人数
175名

掲載プロジェクト数
35件

マッチング率
71.4%

地域パートナー
16団体

※見込み



2019年度からの取り組み

- 1 日本全体で兼業できる土壌作りに向け、全国の地域パートナーと連携を加速し、対応エリアを30地域に拡大する。
- 2 新たに年間100件のマッチングを目指し、モデルとなる事例を輩出する。地域での兼業の価値やリスクなどを可視化し、導入しやすい仕組み作りを進める。
- 3 地域パートナーだけでなく、大手企業との広域での連携を推進し、送出し先、受入れ先の双方の価値創出を実現できる支援体制を整える。

2018年度 連携機関

全国連携／ふるさと兼業



ETIC.
Entrepreneurial Training
for Innovative Communities

生きるように働く人の仕事探し
日本仕事百貨



プロフェッショナル&パラレルキャリア
フリーランス協会



En-Bridge



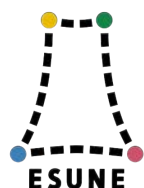
Plat Form
AOMORI



Value
Shift



一般社団法人
ワカツク



ESUNE



MISOGI-GAWA



Local
Flag

いろあわせ



マチビラ

地域連携／大学連携



一般社団法人
わくわくスイッチ



PLAT



コラボキャンパス三河
Collabo-Campus MIKAWA

大ナゴヤ大学

- | | |
|------|---|
| 金融機関 | 岐阜信用金庫 / 百五銀行 / 飛騨信用組合 |
| 企業 | 株式会社仕事旅行社 / 一般社団法人地域・人材共創機構 / 一般社団法人 RCF |
| 大学 | 名古屋商科大学 / 名古屋学院大学 等 |
| 行政 | 中部経済産業局 / 岩倉市役所 / 雲南市役所 / 豊明市役所 / 美濃加茂市役所 等 |

※事業連携や協定締結パートナー、事業受託実績のある団体（一部抜粋）

Partner Message

株式会社日東製陶所 代表取締役社長 若尾幸将氏



長期実践型インターンシップに取り組んで5年。10名の学生を受け入れる中で、BtoC向けの商品開発やスワタイルカフェのOPENなど、新規事業を進めることができました。また、若者の受け入れを通じて若者との向き合い方や接し方を学ぶことができたことで、毎年大卒者の採用もできるようになったと思います。当初はインターンシップという言葉すら知らなかった中、先進的な取り組みだと思いインターンシップの受入を継続した結果が、今の成果に繋がっています。長期実践型インターンシップ・採用支援・兼業複業などの事業のみならず、今後のG-netが取り組む新たな挑戦を楽しみにしていますし、その際にはぜひ一緒に取り組んでいきたいと思っています。

株式会社横田アソシエイツ代表取締役 / 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授 横田浩一氏



G-netも参画しているCAREERFOR のローカルキャリア白書の作成をお手伝いさせていただきました。これを通じて「地方でキャリアを積むということ」に関して共に議論をさせていただいています。人生100年時代において若者はキャリアに迷っています。前の世代が歩んできたキャリアがあまり魅力的でなく、そしてロールモデルにならなくなった今、また本格的な転職社会という環境下において、その悩みはさらに深くなっています。その解決方法の一つに地域・地方という選択肢もあります。かたや、地方・地域は大変な人手、人材不足です。地域で活躍しようという若手を一人でも増やすことは地方創生の視点から大変意義があります。経営体制が変わって2年、新生G-netに志の高い仕事と時代を先取りした挑戦を期待しています。

塩尻市役所地方創生推進課 地方創生推進係長 / 空き家プロジェクト nanoda 代表 山田崇氏



私が塩尻市役所から塩尻商工会議所に出向して3年目の2014年2月に、当時のG-net代表 秋元祥治さんを塩尻市に初めてお迎えしました。そして、G-netが取り組む実践型インターンシップ、中小企業の経営革新について講演いただいたことがきっかけで、本市でも実践型インターンシップがスタートしました。翌年の2015年には、インターンシップ成果報告会にて今後のアドバイスをいただき、現在までに市内中小企業に50名以上の大学生がインターンシップに参画する事業として成長しました。実践型インターンを通して地元企業に就職した大学生が3名出るまでになるなど、G-netから受け継がせていただいた経験値が塩尻市の地方創生の一つの取り組みと成長しています。現在は、Career Forの取り組みにも一緒に参画しており、地域での新しいキャリア「フューチャーキャリア」の研究に取り組んでいます。今後も一緒に、挑戦者の伴走者として日本の若者たちと一緒に未来をつくっていければ幸いです。

NPO 法人大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク 理事長 大野高明氏



2015年より共同で「しごとバー名古屋」を運営しています。共同で一つのプロジェクトを運営するようになり、緩やかに関わる人や情報が混ざりあう現象が起きています。G-netに関わる企業経営者を自主運営しているwebメディアの記事として取り上げるなど、一緒にプロジェクトを運営しなければ起きなかった混ざり合いが起き、当団体としても関わる人に幅広い情報に出会う機会を提供できるようになりました。一緒に取り組もうと声をかけていただき感謝しています。また、NPO法人の先輩として、「ふるさと兼業」など新しいことにチャレンジしていく姿勢に刺激を受けています。これからも、面白いことに取り組んでいきましょう！

名城大学社会連携センター 山本剛毅氏



G-netとの出会いは2005年。私が大学院生でまちづくり活動にめざめた時で、秋元さんとの出会いをきっかけに、地域や若者を大切にしている中小企業の経営者、グローバルに活躍する起業家、若者の人材育成・起業家育成のリーダーなど、多くの魅力的なホンキの大人たちに出会わせて頂きました。2011年に名城大学キャリアセンターで働きはじめてから、現代表の南田さんと出会い、大学とコーディネート機関の連携のあり方など模索しながら、事前研修などの取り組みで協働し、名城大学から長期実践型インターンシップに挑戦する学生が多数生まれました。これまでG-netは、挑戦する若者の育成と地元企業の事業創出等を長期実践インターンシップという手段で実現させ、挑戦する経営者と学生の素晴らしいコミュニティを形成されています。最初の出会いから14年。「働き方、学び方、暮らし方」が大きく変わりつつあり、それにより学生の学び方、過ごし方、就職活動も変わろうとしています。G-netもふるさと兼業事業、カケタス超実践プロジェクト展など時代の変化にいち早く事業を展開させていると感じています。G-netがこれからの時代に新たに期待され、価値創造していく分野として、パラレルキャリア、プロジェクトベースでの働き方、都市と地方の関係人口づくり、社会課題を真ん中においたビジネス創出、事業継承、起業家人材の育成などがあると思います。そして、この幅広い分野に共通するのは、やはり地域で挑戦する人づくり、この地域をおもしろくすることなのだと思います。ぜひこれからも地域の挑戦者づくりに一緒に取り組むことができればと思います。その中で私も挑戦者でありたいと思います。よろしくお願いします。

2018 年度会計報告 (2018 年 6 月 1 日 ~ 2019 年 5 月 31 日)

総括

2018年度は収入が80,981千円で、前年度比82%減、正味財産増減額は228千円でした。行政受託を減らし、昨年度の利益を新たなチャレンジである社会人領域事業に投資をした1年でした。収入の内訳は、自主事業収入が全収入の58.7% (前年度比84%)、行政受託収入が36.3% (前年度比82%)、補助金収入が4.9% (前年度比67%) でした。

収支推移

	(前年比)	2018 年	2017 年	2016 年	2015 年	2014 年
収益	82%	80,981,034	98,459,819	85,741,493	115,977,468	78,115,947
支出	96%	80,752,827	83,841,107	81,188,763	101,328,884	75,367,949
正味財産増減額	2%	228,207	14,618,712	4,552,730	14,648,584	2,747,998

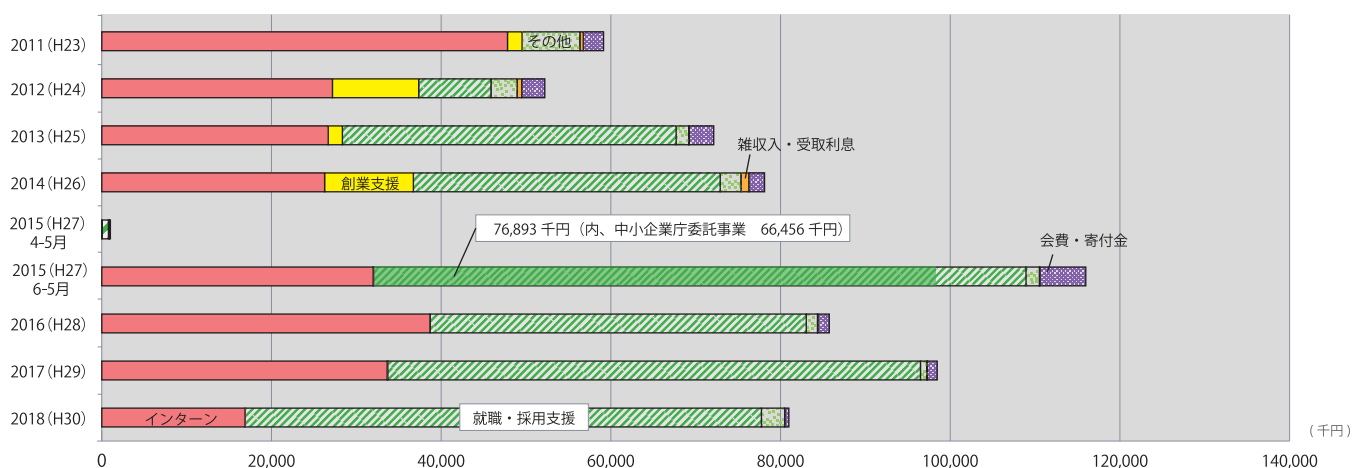
収益種類

	(前年比)	2018 年	(全体に占める割合)	2017 年	2016 年	2015 年	2014 年
自主財源	84%	47,541,417	58.7%	56,591,503	42,151,016	37,067,709	27,991,818
行政受託	82%	29,435,926	36.3%	35,863,089	43,589,353	78,904,201	31,738,154
補助・助成	67%	4,000,000	4.9%	6,000,000	0	0	14,993,454
その他	71%	3,691	0.0%	5,227	1,124	5,558	909,191

事業別収益推移

	(前年比)	2018 年	(全体に占める割合)	2017 年	2016 年	2015 年	2014 年
インターン事業	50%	16,883,577	20.8%	33,630,483	38,678,962	31,979,623	26,262,430
就職採用支援事業	97%	60,860,743	75.2%	62,796,238	44,353,903	76,892,725	36,165,548
創業・中間支援事業	-	0	0.0%	64,815	0	59,889	10,460,946
その他 (講演など)	354%	2,745,902	3.4%	775,741	1,335,044	1,594,720	2,459,426
雑収入・受取利息	113%	423	0.0%	373	1,124	5,558	909,191
会費・寄付金	41%	490,389	0.6%	1,192,169	1,372,460	5,444,953	1,858,406
合計		80,981,034		98,459,819	85,741,493	115,977,468	78,115,947

全体収益の構成推移



	2018 (H30)	2017 (H29)	2016 (H28)	2015 (H27) 6-5 月	2015 (H27) 4-5 月	2014 (H26)	2013 (H25)	2012 (H24)	2011 (H23)
■ インターンシップ	16,883,577	33,630,483	38,678,962	31,979,623	12,441	26,262,430	26,689,532	27,185,673	47,817,961
■ 創業支援・中間支援	0	64,815	0	59,889	0	10,460,946	1,667,668	10,165,734	1,715,463
■ 就職・採用支援	60,860,743	62,796,238	44,353,903	76,892,725	768,149	36,165,548	39,338,852	8,518,800	0
■ その他	2,745,902	775,741	1,335,044	1,594,720	114,630	2,459,426	1,504,866	3,095,220	6,825,640
■ 雑収入・受取利息	423	373	1,124	5,558	437	909,191	12,589	531,133	386,873
■ 会費・寄付金	490,389	1,192,169	1,372,460	5,444,953	118,711	1,858,406	2,910,766	2,720,182	2,393,768

Alumni Message

『石、転がり始める、スタート地点』

石早通 のうひ葬祭
長期 19 期 G-net

『個性を引っ張り 背中を押し続けてくれる存在』

鈴木可奈 飛騨五木 森ワクマーケット担当
長期 23 期 株式会社リバーシブル

『迷いながら踏み出した一歩 背中を強く押し続けてくれる存在』

祖父江光祐 株式会社イビソク
中期 8 期 ひとひとの会

『岐阜の魅力ともものづくりのおもしろさ、 自分の人生の楽しさに出会えた場所。』

佐藤七海 大橋量器
長期 22 期 山田木管工業所

『人生のストッパーを外す手段』

伊藤早紀 株式会社 Parasol Forky 編集長
長期 13 期 マイルポスト/中期 3 期 ひとひとの会

『自分のホンキさに気づくスタートライン』

谷合俊明 株式会社 Kitamura Japan/NPO法人メイド・イン・ジャパン・プロジェクト専務理事
長期 10 期 ゴッタライド/長期 13 期 Kitamura Japan

『スタートの“点”が打たれた場所。 そこからたくさん点と線が結ばれ、 今でも生き方の“道しるべ”となっています。』

松尾早希子 武雄市役所
長期 10 期 石本果樹園

『自分の人生を切り開いた一歩!!』

平野佑果 三菱 UFJ 銀行
長期 10 期 山川醸造

『将来に対する漠然とした不安を解消できる場所、 そして高校の保健室のように終わった後でも ふらっと立ち寄れる場所』

新井宏典
長期 21 期 ユニオン電子工業

『人生のボーナスステージ』

羽田知弘 株式会社西栗倉・森の学校
長期 12 期 G-net

『全てのご縁のはじまり。そして人生を大きく変えた出会い。』

下川あんず yaotomi
中期 4 期 yaotomi

『新たな選択肢を教えてくれて、 諦めることを諦めさせてくれた場所』

高橋良太 ひだまりほーむ
長期 27 期 G-net

『自分のことを見つめ直せる場所』

清水彩 タナック
長期 17 期 三州野安

『自分の無能さを痛感した。 だからこそ多くのことが吸収出来て、 多くの尊敬できる人が出来た』

光岡彩加 東愛知日産自動車
長期 22 期 助六

『今も、これからも、変わらぬ原点』

高橋義挙(みりん) 名古屋医健スポーツ専門学校
長期 15 期 杉浦味淋

『ホンキ系とは社会の窓!』

浅野恭平 株式会社イデアインターナショナル
長期 16 期 岐阜美少女図鑑

『師匠兼ダチ(南田さん)との出会い』

早川昇吾 エムスリーキャリア株式会社
長期 12 期 G-net

『大学での知識をすぐに実践でき、 これだと思える仕事が見つかった場所』

伊藤祐子 ケアプロ株式会社
長期 16 期 山川醸造

『社会への扉、志をもらう場所。 投げ出したくなるときに踏みとどまれる火種』

酒井智代 株式会社 LITALICO
長期 13 期 大橋量器

『自分と向き合っ、今の自分の最大限の力と 自分の可能性を確かめて発見する機会』

櫻井亜美
長期 21 期 山川醸造

ご支援のお願い

G-netのサポーターとして、チャレンジを支えていただけますよう、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

寄付金額

個人会員：1,000 円～ / 月・12,000 円～ / 年
法人会員：5,000 円～ / 月・60,000 円～ / 年

カード決済

こちらよりお申込みください。
<https://kessai.canpan.info/org/gnet/>



年間一括 銀行振込

こちらよりお申込みください。
<https://goo.gl/wFJMDu>



■銀行名 十六銀行 ■支店名 柳ヶ瀬支店
■口座番号 普通 1550777 ■口座名 トクヒジーネット

※定額・連続ではない、その都度のご支援もありがたくお受けしております。クレジットカードまたは銀行振込にて承ります。



NPO 法人 G-net

〒500-8844 岐阜市吉野町 6-2 ブラザービル 2 階

TEL 058-263-2162

FAX 058-263-2164

<https://gifist.net>

G-net

検索